

成長期待企業 の イチオシ!

中小企業支援ネットひょうごは成長性を見込んだ企業を「成長期待企業」として選定し、複合的な支援を実施。頑張る企業が誇る製品を紹介します。

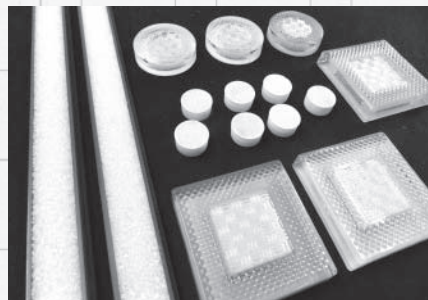
廃ガラスを利用した蓄光製品

有限会社ラベックス

夜間の安全確保や誘導用に 安価で加工性に優れる蓄光製品を 廃ガラスを利用して開発

ブロックメーカーを脱サラし、7年前にエクステリア資材と園芸用品の卸・小売りの会社を始めた清水荘一郎社長。その頃、「資材として扱って見ないか」と紹介されたのが蓄光石でした。蓄光石は、樹脂と蓄光顔料を混ぜて固めたもの。太陽光や蛍光灯の光を蓄えて暗くなると発光する性質を持っています。「これは面白そうだな」と思ったものの、蓄光顔料は高く、小売価格がかなり跳ね上がってしまうことが分かりました。そこで、コストを抑えた発光体の開発に着手します。

その結果、樹脂の代わりに光の透過性が高いガラスを使うことで、発光性能を変えずに蓄光顔料の含有量を少なく済ませることに成功しました。ガラスに均一に蓄光材を混ぜる技術も確立し、3年半前に特許の認定も下りました。ガラスも廃ガラスを使うことでよりコストを抑え、「蓄光石よりも10分の1以下の小売価格で販売できるようになりました」。開発した



階段にはめ込むタイプのほか、ペットボトルのキャップを使った商品も

発光ガラス体（廃ガラスを利用した蓄光製品）は暗闇で6時間程度光り続けることができるそうです。

これまで、さまざまなイラストや図案、サイン、文字等が表現できる「ムーンロックシリーズ」の他、正方形や円形の硬質ガラスの中心部に発光ガラス体を埋め込んだ「ムーンペイブシリーズ」を商品化。公園の歩行誘導用や庭のアプローチ用に利用されています。また、階段の縁に埋め込むことができる商品や、ペットボトルのふたの裏に発光ガラス体を入れた、組み合わせのデザインが楽しめる商品も発売しています。

従来商品は、発光ガラス体の間に水分が入り込んで汚れが目立ちやすかったのですが、特殊な加工を施すことで水分が入り込まないようにする加工法もこのほど1年がかりで開発。今年3月には、兵庫県が販路開拓を支援する「ひょうご新商品調達認定制度」の認定も受けました。

東北地方から九州地方まで代理店を通じて販売していますが、「今後はこの代理店網を広げていくことに注力して、販路を広げたい」と話しています。



暗闇の中で発光する商品群

◎有限会社ラベックスの
廃ガラスを利用した蓄光製品

有限会社ラベックス／所在地：朝来市石田547／代表取締役社長：清水荘一郎
事業内容：エクステリア部材、公園資材等の卸・小売り、花苗、園芸用品の卸・小売り
TEL 079-678-1577／URL <http://www.lovetomoon.com/>

編集後記

元気企業訪問に登場するJA兵庫みらいでは、これまで数多く農産物加工品を商品化しています。売れる商品を送り出すポイントは、「試食の評価を基に改良すること。実際に購入される女性の意見を大切にすること」だそうです。

JUMP

2012年11月号 平成24年10月30日発行
発行人：表具喜治 編集人：深田修司

明日へ飛躍する企業をサポート

ひょうご産業活性化センター通信

発行所 公益財団法人ひょうご産業活性化センター

URL <http://web.hyogo-iic.ne.jp>

神戸市中央区雲井通5-3-1 サンバル6階

TEL 078-291-8526